

会員 だより



当社イチオシAKD舗装の紹介!

道建協会員の皆様こんにちは、鹿島道路の箴島と申します。昨年七月より沖縄に赴任して早十ヶ月となりました。今回で十年ぶり四度目となる沖縄での生活、道路は多少知っているつもりでしたが、私の知識はほとんど通用せずナビに助けられながら活動しているところです。

平成12年に初めて沖縄に赴任してから、来るたびに発展しているなと感じておりましたが、今回は空港沈埋トンネルを始めコザ十字路周辺などなど目覚ましい変化にびっくりしているところです。今回は、多少長くお世話になるつもりでおりますので、色々と沖縄を勉強し尽くしたいと考えておりますので、会員の皆様のご指導よろしくお願ひいたします。今回は寄稿依頼を頂きましたので当社イチオシの耐油性・耐久性に優れたアスファルト系高耐久性舗装をご紹介させていただきたいと思います。商品名はAKD舗装(Anti Kerosene and Durability)と称します。AKD舗装は、耐油性、ねじり抵抗性、耐流動性に優れた舗装であり、一般的に使用されるアスファルト混合物に特殊添加材(AKD用特殊添加材)を添加するものです。AKD舗装用アスファルト混合物の製造は、AKD舗装用添加材を投入・混合するのみで簡便に製造できるため、少量でも製造可能です。また、施工に関しても一般的に使用される、アスファルト混合物を舗設する時と同じ機械で施工が可能で特殊な設備は必要ありません。また、通常の舗装と変わりませんので舗装の温度が下がれば、即時に交通解放が可能です。

主な特徴を挙げますと①「優れたねじり抵抗性:交差点等における走行車両のねじりに対して高い耐久性を有します。」②「優れた耐油性:油によるアスファルトの軟化(カットバック)に対して高い耐久性を有しています。」③「優れた耐流動性:繰返し荷重の作用によるわだち掘れの発生に対して高い耐久性を有しています。」



④「通常のアスファルト舗装と変わらない施工性:特殊な設備や特殊な施工機械は不要です。舗装の温度が下がれば交通解放が可能です。」

夏場ともなれば、昼夜を問わず舗装体の温度が下がらない沖縄地方の道路、既存のプラントと舗装機械・編成などをそのまま使用できるこの工法、これからの季節にいかがでしょうか?

有限会社 北勝建設 代表取締役社長 新里 勝則

ともありピンク色の幟で華やいています。また国立自然公園に指定され何かと話題のやんばるに是非ドライブがてらお出でください。



工事部の拠点!名護本店

活動報告・トピックス



株式会社 大米建設 企画・広報委員長 石垣 永健

新生活・防災意識も忘れずに!

東日本大震災から6年が経ち、熊本地震から1年が経とうとしている。つい先日の3月25日深夜大きな揺れを感じ目が覚め、ちょっとした恐怖感を覚えたがしばらくすると揺れも治まった。

私は、マンションの10階に住んでいるので、より大きな揺れを感じたんだと思う。翌日の新聞には午前1時43分頃、震度3、マグニチュード5.1と記載されていた。

マグニチュード5~7までは、地震の大きさの分類として「中地震」とされており、沖縄近海でも2010年2月27日 M7.0、2014年3月3日 M6.6、2016年9月26日 M5.7、そして前記の3月25日 M5.1と近年多くなってきていると感じる。

沖縄では、1771年4月24日の「明和の大津波」と呼ばれる八重山地震(M7.4)以来大きな被害は受けてはいないが、いつ起こりうるかもしれないので常に防災意識を持っていなければならないと思う。

仕事柄、現場においては防災訓練や避難訓練を行っているが自分の住んでいる地域のこととなると何もやっていない自分が恥ずかしい。

東日本大震災3月11日、熊本地震4月14日と今の時期に発生している。過去の教訓を忘れることなく備えることが重要だ。この時期は就学・就職や転勤などで新天地での暮らしを始める方も多いと思う。まずは住んでいる自治体の防災マップを確認することから始めよう。



①道の駅「おおぎみ」に 発電機一式を寄贈!

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部では、3月7日(火)に大宜味村の道の駅「おおぎみ」に発電機と投光器の寄贈を行いました。贈呈式は道の駅「おおぎみ」で関係者を前に行われ、奥野沖縄支部幹事長が「国土交通省が道の駅を災害時の広域防災拠点としたことに鑑み、当協会の社会貢献活動にも合致するものです。道の駅の果たす役割は重要で、今回贈呈する機器が利用者、地域住民の

今月の予定

- ①第1回正副委員長会議 支部会議室
4月14日(金)11:00~
- ②会計監査 支部会議室
4月20日(木)11:00~
- ③第1回幹事会 支部会議室
4月25日(火)12:00~13:30

お役に立てれば幸いです。」と挨拶し、大宜味村長に機器一式を手渡しました。

宮城功光大宜味村長は、「沖縄は台風の常襲地帯であり、大宜味村も例外ではない。災害時の停電に備えて、発電機の寄贈は誠に有り難いことです。『道の駅おおぎみ』は国道58号沿線にあり観光客など多くの利用者が訪れる場所となっています。利用者の安心・安全確保のため万が一の備えは、揺るがすことの出来ないことです。道の駅の地域防災拠点としての役割に沿った寄贈で心強く思います。」と感謝の言葉を述べました。



「道の駅おおぎみ」の会議室で発電機贈呈式
宮城村長(右)、奥野幹事長(左)を中心に参加の皆様

会員 だより



工事部拠点を名護に移し早1年!

会員の皆様こんにちは。寒さも少しずつ和らぎ、やんばるでは新緑が美しい季節になろうとしています。弊社は工事部の拠点を平成28年1月に名護市へ移し、早一年が経ちました。名護市を一望できる為又のはずれにあり、近くには、北部地区医師会病院や名桜大学、パイナップルパーク等の施設が点在しています。「夢・情熱・挑戦」を経営理念に掲げ、近年は若年層の人材育成に力をいれ、地域に貢献できるよう会社の躍進に努めているところです。さて、本社総務部のある国頭では大相撲春場所で活躍中の宇良関の父親が本村宜名真出身というこ

②第127回 道路美化・清掃活動 うりずんの風吹く中、道路清掃!

3月21日(火)に14社18名の参加でうりずんの風吹く中、第127回道路美化清掃活動を実施しました。うりずんの季節は、若葉が一斉に芽吹き、草花はその彩りを増して、清掃活動にも気持ちの良い季節です。

